

雨水貯留施設の整備により集中豪雨時の浸水被害発生を防止(大阪府高槻市)

- 平成24年8月14日に発生した集中豪雨（時間最大雨量72mm）により、高槻市の野見町周辺では床上10件、床下28件の浸水被害が発生。
- 平成27年2月に高槻市総合雨水対策アクションプランを策定し、計画降雨（10年確率48mm/h）を超える超過降雨対策として、3か年緊急対策により、高槻城公園内に**雨水貯留施設を整備**。
- 令和3年8月13日の豪雨（時間最大雨量53mm）では、雨水貯留施設が効果を発揮し、**浸水被害の発生を防止**。



事業名	事業内容	事業費	対策期間
高槻市高槻中排水分区 下水道浸水被害軽減総合事業	雨水貯留施設	約10.6億	H29～R1
うち、3か年緊急対策	雨水貯留施設	約2.3億	H30～R1

【高槻城公園内雨水貯留施設】
貯留量：雨水貯留施設5500m³
導水貯留管 150m³

平成24年8月豪雨時の状況（時間最大雨量72mm）



令和3年8月豪雨時の状況（時間最大雨量53mm）

